

## Q7 困っていることやまちづくりセンターへの要望等（記述欄より一部抜粋）

- ・ いつもお世話になり、ありがとうございます。入館者の激減や臨時休業を余儀なくされ、4月以降の収益が激減しています。支援制度をはじめとする情報が最も重要なので、何卒宜しくお願い致します。
- ・ 定例会、研修会、役員会が開催できない。
- ・ NPOまつり、残念ですが来年を楽しみに！！何か出来る事がありましたら、お声掛け下さい。
- ・ イベント等の実施がなくなっているため商品が残っている状態。地域の方々との交流やふれあいがなくなり外に出れないストレスをかかえている方も出ている。はやくもとの生活にもどり水曜マルシェやNPOまつり等の復帰を待ち望んでいます。
- ・ 視覚障害等の利用者さんを対象としている当館の活動は情報（本、雑誌、広報等）提供ですので活動は、継続していかなければならず、細心の注意を払っています。利用者さんとの対面でのサービスはしばらく休止していますが、出勤してくる職員やボランティアさんへのマスクの提供を要望します。
- ・ ①特になし ②センターも早めに開いて下さい。
- ・ マスクは手作りをしている（不足）。利用者（障がいを持っている人々）は休んでもらっている為、給料（工賃）が発生しない、又、体調も心配。
- ・ 今年は募金活動が制限されることが予想されるため、広報の協力をお願いします。
- ・ 前任者が退会以来、PCが無く操作する人もいない
- ・ 会の年間事業の計画がたたなく、活動ができない状況がつづいています。会員も仕事が減少し、今後が心配です。
- ・ 私共のNPO法人は学童保育をやっています。毎朝早くから晩まで開けていて、このコロナウイルス感染症でかなりの人件費がかかっています。市から委託を受けているわけではないので委託料はもらっていません。保護者からの保育料だけでは、人件費、家賃、公共料金など支払うのがとても大変です。いつ潰れてもおかしくないぐらいです。精神的にもかなり参っています。どうか助けてください。函館市の支援で学校臨時休業などに伴う追加的費用への支援。第2次補正予算も委託されていないので適用外です。函館市は私共の学童を潰す気なのかと思いました。赤字で大変なところにコロナで保護者への支援で保育料を無料や、お昼代の無料をやっていてほんとうに大変です。
- ・ 4月マスク着用、アルコール消毒等設置、稽古場の空気の入替えなど工夫してましたが、5月は1か月間休止してます。5月は収入がありません。
- ・ 「函館の町が子どもにとって住みやすい町になっているか」問われています。大人の責任で未来の函館への設計図が求められていますと思います。義務教育の面では、学校統廃合に伴う通学距離延長、通学バス登校、児童館、学童保育の過密化が懸念されています。
- ・ 私達にできる事、例えば「マスクが不足しているので、手作りでOKなので寄付して」とか、小さな要望でも発信してくれたら協力したいと思っています。
- ・ 授産品を販売して頂いている店の休業や販売会の中止などで利用者への工賃を支払う為の収入が激減しています。4月まではなんとか支払う事ができましたが5月工賃は支払いが厳しい状況です。
- ・ 毎月の例会（10人前後）等は「密」を避ける為、比較的広いスペースの場所を希望したい。よろしくお願い致します。
- ・ 特に困っていることはないが、会員には高齢の方が多いので、今年度は活動を控える予定です。

## Q7 困っていることやまちづくりセンターへの要望等（記述欄より一部抜粋）

- ・ 閉館中、中に入れないと困るな、と思ったことがあったが、5月は実際に裏口から入れたので支障なかったのが良かったです。イベント、会議が開けないのは痛手です。
- ・ いつもありがとうございます。1日も早く、センターの再開と、安心して各団体が活動できる日が来る事を願っています。
- ・ 毎年、NPO祭りに参加していました。今回、中止になり、本当に残念に思っています。また、このような時に、センターのスタッフの方々と一緒に協力できる事があれば協力したいです。
- ・ 春～秋にかけてイベントに参加し、利用者の手芸等の作品販売、お菓子等の販売で収益をあげて、B型なので工賃を払ってきましたが、販売できていた5カ所のうち4カ所は閉所のため、減額となっており、また注文やイベントに応じて製造していたので、作業組や仕事の内容にも変更があります。通常どおりの活動ができないことでそれが変化になってしまう（不安など）ことも考えられ、日々の細かな支援が必要だと感じます。販売ができる場所がほしいと思います。（イベント→むずかしいですが）
- ・ 体験塾は実施している。りんごの花つみなどはなんとかできた。登山ボランティア休み。個人でしか登れない。市からの指示で亀尾田んぼ田植えはダメ。自然が相手なので困っている。屋外なのに・・・用心が重なっている、
- ・ 今回のアンケートの結果を公開していただけると他団体の取り組みなど参考になります。
- ・ 解除後の活動内容や3密対応が課題です。（レクリエーション活動は、人との接触が中心なので）
- ・ マスク持って寄付します！
- ・ 7月の主催イベントの中止を決めました。これまでの賛同金や寄付の使用内容を伝える冊子を発行することにしました。国や自治体の対応の不備により、団体としての決定が遅くなることもあり、やはり政治に期待はできないなと感じています。
- ・ 総会や短歌大会を紙面開催として、資料や歌稿をメール便・郵便で対処しました。今後もその方針です。ただ、資料作成や理事の打合せの場所を公共の施設でも借りられず困りました。少人数で間隔が設けられる場合は対応していただければ有難く思います。
- ・ ・ 基礎疾患が故に、公共交通機関が使えない  
・ マスクが使えない
- ・ 感染対策を講じて全員元気にはしていますが、製品の販売先がなくて困っています。どんぐりも休でしたし、イベントも中止となったので。イベントは秋まで中止。目途がたたない。スタッフの中でマスクを嫌がる人がいたのですが、今回のことで着けるようになったのは、良かった。
- ・ チケットや広告の収入が無くなり、会の維持・管理費用が不足。また、来年に向けてのスタッフ集めが難しい。それを支援していただける制度等の紹介をお願いできれば幸いです。
- ・ お互いに頑張りましょう！
- ・ いつも気にかけていただき、ありがとうございます。休館中、皆さんもご苦労されていることと思います。マルシェも中止、NPOまつりも中止が決定され、残念ですが仕方がないと思います。当たり前の日常が過ごせない生活に、少しずつ慣れてきているようにも感じますが、それまでの平和で穏やかな日常がどんなに幸せだったことかを、あらためて実感しています。けれども、こうしてネット環境が整っているところでは、仕事だったり、何かを注文することも便利にできますし、人とつながることもできます。良い世の中だと思いますが、反対に悪用する人もいて残念に思います。やはり人は、人とコミュニケーションすることが必要だと思います。マスクの事も問題になっていますが、問題になる前に情けないと思います。その点、北海道知事、函館市の対応は素早く、施設の休館も良かったのではないのでしょうか。みなさんが我慢をしたり、考えて行動すれば良い方向へ行くように感じます。

## Q7 困っていることやまちづくりセンターへの要望等（記述欄より一部抜粋）

- ・ 水曜マルシェの開催を希望しています。
- ・ いつもお世話になっております。厳しい状況が続きますが、この状況が収束しましたら、また会議等で利用させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。
- ・ 休館中でも、印刷機を利用することができて、とても助かりました。
- ・ 屋内活動の再開を「緊急事態宣言解除」だけで判断していいものか？年齢層が高いので判断に迷っています。
- ・ NPO/NGO団体がそれぞれに存続していくために道や市への共同申し入れ。  
NPO/NGO団体が担っている公益的活動への理解・協力を促す。「コロナ」と共生していく今後は益々その存在意義は大きいのではないか。
- ・ 現在、活動休止中ですが、そろそろ再開しようと思っています。また、フリマやコンサート等の会場として、まちづくりセンターさんを使わせていただけたらと思います。よろしくお願い致します。